

土岐市総合計画基本構想案の主な修正について

第4回総合計画審議会でごいただいた意見及び事務局内で再度検討した結果、前回の案から修正を行った主な箇所は以下のとおりとなっています。

なお、前回の審議会委員から出された意見に基づく詳細な修正内容は、「第4回 土岐市総合計画審議会において出された意見と対応」をご参照ください。

表 主な修正箇所

頁	修正内容	備考
3 P	図中、『団塊世代が後期高齢者』の表示位置を修正しました。	委員からの意見
4 P	(2) 地方分権と行政改革について、全体の統一を図るため、具体的な法律名の記載を削除しました。	事務局内での再検討
6 P	(8) 地域の誇りを育む歴史や文化について、「関連する法律」という不明瞭な記載を削除し、見直しました。	事務局内での再検討
16～17 P	第3章 まちづくりの課題について、一部の内容を見直し、文言を整理しました。	委員からの意見
22～23 P	基本指標について、一部の内容を見直すとともに、グラフを人口変遷がよりわかりやすいよう見直しました。	委員からの意見 事務局内での再検討
27 P	土地利用構想について、土地利用構想図を見直しました。	事務局内での再検討
28～39 P	基本目標の言葉及び施策展開の方向性の文章について、見直しました。	委員からの意見
41 P	(3) PDCA サイクルによる進行管理の図について、わかりやすい表記に見直しました。	事務局内での再検討
	(4) について、全体的に見直しました。	委員からの意見

表 第4回 土岐市総合計画審議会において出された意見と対応

編章目	意見	対応
1-1-2	団塊の世代の定義について、狭義、広義、どちらの意味で使用しているのか注釈が必要。	狭義の意味で表記するよう修正しました。
1-2-2	「シデコブシなど」として「ハナノキ」も読み取れるようにしてほしい。	記述項目以外にも豊かな自然があるため、文末に「など」と記載しました。
	美濃焼が輸出の面からは世界有数であるので、「世界有数」という表現を積極的に使うべき。	世界有数の定義があいまいであることから、原文とおりとします。
1-3	まちづくりの課題から中心市街地や駅前の活性化の記述が削除されている。	活力を取り戻す記述を追加しました。
	まちなかの商店街の再生の取り組みは書いておいた方がよい。	
2-1	将来像の「織りなす」と「交流」が重複している。「交流」を「共生」などとした方がよい。	「織りなす」は、「人・自然・土」といった各要素の関係性を示しており、「交流」は、人と人との交流を主に示していることから原文とおりとしています。
2-2-1	人口・世帯数の根拠となる条件も記載する。	根拠・条件を記載しました。
	目標人口を定めた根拠を小さい文字でよいので注書きで書く。	
	市政満足度指標の目標が35%では低い。せめて50%にするべきである。	50%に修正しました。
	主観的な指標だけが示されている。客観的な指標もセットで書くとよい。人口は4番目の客観的指標とするなど、検討すべき。	人口を客観指標と修正しました。
2-2-2	土地利用構想について、方針がうまく表現されていない。土地利用構想の前に方針があったほうがよい。	めざすまちづくりの方向性の1つとして位置づけており、原文とおりとしています。
	土地利用の位置づけを一度検討してほしい。	
2-3-1	「安心・福祉」だと健康や医療が抜ける恐れがある。可能であれば「安心・保健・福祉」とします。	「健康・福祉」に修正しました。
2-3-2	子育て支援の充実において、親の育成を入れたほうがよい。	総合的な子育て支援に含まれており、原文とおりとしています。
	美濃焼産業そのものを強くしてもっとPRしていくことを書いて欲しい。	「産業基盤の強化を図るとともに」といった記述を追加しました。
	土岐市は歩道の整備が悪い。特に、市道については歩道がないので、「歩道の整備・充実」を謳って欲しい。	個別施策は実施計画で示します。また、交通安全施設として歩道の整備も含めていることから、原文とおりとしています。
	「防災」は「防災・減災」とした方がよい。	防災・減災対策の推進に修正しました。
2-4	重要政策分野への対応とあるが重要政策分野をどうやって示すのか。	「選択と集中による効率的な施策・事業推進」とし、内容を見直しました。
	PDCAサイクルで毎年見直しを実施するのか、どういうシステムで見直しをするのか具体性に欠ける。	これから検討して具体的にどうしていくかを決めていきます。